報道関係各位

2021年5月21日

「AI問診ユビー」が全国47都道府県、400以上の医療機関で導入達成

感染防止対策等を目的に「かかりつけ医」での活用も拡大

Ubie株式会社（本社：東京都中央区、以下「Ubie」）が提供する医療機関向け業務効率化サービス「AI問診ユビー」は、2021年5月に全国47都道府県の医療機関での導入を達成しました。導入医療機関数は400以上となり、サービスローンチ当初の主な導入先だった病院に加え、クリニック・診療所など「かかりつけ医」での活用も広がっています。

2017年サービス提供を開始した「AI問診ユビー」は、紙の問診票のかわりにタブレットやスマートフォンを活用した、医療機関の業務効率化のための問診サービスです。医師は、カルテ記載に伴う事務業務の削減によりさらに患者と向き合い診療に集中でき、患者は、診察前の待ち時間に詳しく症状を伝えられるようになります。こうしたサービス特性をもって医療現場のDX・業務効率化に貢献し、働き方改革への意識が高まる急性期病院を中心に導入数を伸してまいりました。

さらにコロナ禍においては、クリニック・診療所など「かかりつけ医」での導入が急速に広がっています。紹介状の自動作成などクリニック・診療所に特化した機能に加え、患者の受診控えが深刻化する中で求められる滞在時間短縮や来院前の事前トリアージなど、患者やスタッフの安心・安全対策として活用されています。

今後「AI問診ユビー」は、医療現場の効率化のみならず、人と地域医療をつなぐサービスとして、持続可能な医療体制の支援を目指します。地域医療の起点であるクリニック・診療所と、病院間の連携による適切な役割分担の促進や、生活者向けWeb医療情報提供サービス「AI受診相談ユビー」との連動による、生活者が適切な「かかりつけ医」と出会い、適切なタイミングで受診ができるための支援など、テクノロジーで医療界に貢献してまいります。

【医療機関向け「AI問診ユビー」について】

「AI問診ユビー」は医療機関の紙の問診票のかわりにタブレットやスマートフォンを活用した、医療機関の業務効率化のための問診サービスです。医師は文章に翻訳された問診内容と病名辞書の結果を活用することにより、電子カルテに記載を行う事務作業が大幅に削減され、より患者様に向き合い診察に集中できるようになります。患者様は医療機関にて患者様はタブレットを使って症状を入力することで、医師等の診察前の待ち時間を活用し、事前に詳しい症状の内容を伝えることができます。2021年5月現在、全国47都道府県・400以上の医療機関で導入されています。第三回日本サービス大賞で「厚生労働大臣賞」と「審査員特別賞」を受賞しました。

URL：https://intro.dr-ubie.com/

【生活者向け「AI受診相談ユビー」について】
「AI受診相談ユビー」は生活者の適切な医療へのかかり方をサポートするWeb医療情報提供サービスです。いつでもどこでも気になる症状から、関連する病名と適切な受診先を調べることができます。かかりつけ医等地域の医療機関や、#7119等の救急車対応、厚生労働省等の公的な電話相談窓口への適切な受診行動を支援します。2021年5月現在、月間80万人以上に利用いただいています。
URL：https://ubie.app/

【Ubie株式会社について】
「テクノロジーで人々を適切な医療に案内する」をミッションに掲げ、医師とエンジニアが2017年5月に創業したヘルステックスタートアップです。AIをコア技術とし、医療現場の業務効率化を図る「AI問診ユビー」と、症状から適切な医療へと案内する「AI受診相談ユビー」を開発・提供。誰もが自分にあった医療にアクセスできる社会づくりを進めています。

所在地　：〒103-0022　東京都中央区日本橋室町1-5-3　福島ビル6階
設立　　：2017年5月
代表者　：共同代表取締役　阿部 吉倫・久保 恒太
URL　　：https://ubie.life

【本件に関する報道関係のお問い合わせ】
Ubie株式会社　広報担当　片山・重藤・岡・上田
TEL：050-3503-9545（広報代表番号） MAIL：pr@dr-ubie.com